

令和2年7月八戸市教育委員会定例会会議録

開催日時 令和2年7月31日(金) 午後1時30分

場 所 市庁本館3階 議会第1委員会室

| | | |
|-----|------|-------|
| 出席者 | 教育長 | 伊藤博章 |
| | 教育委員 | 武輪節子 |
| | 教育委員 | 大庭文武 |
| | 教育委員 | 築瀬眞知雄 |
| | 教育委員 | 油川育子 |

| | | |
|---------|--------------|-------|
| 事務局出席職員 | 教育部長 | 石亀純悦 |
| | 教育部次長兼教育総務課長 | 橋本淳一 |
| | 教育部次長 | 中村雅臣 |
| | 学校教育課長 | 大館秀光 |
| | 教育指導課長 | 南館義孝 |
| | 社会教育課長 | 館合裕之 |
| | 是川縄文館副館長 | 松橋広美 |
| | 総合教育センター所長 | 竹花和人 |
| | こども支援センター所長 | 大坂吉弘 |
| | 図書館長 | 田茂隆一 |
| | 博物館長 | 小保内裕之 |

開 会

(伊藤教育長)

定刻となりましたので、令和2年7月教育委員会定例会を開会します。

本日の議事録署名は、油川委員を指定します。

それでは、はじめに私から、主な会議・行事等について説明いたします。

主な会議・行事等

(伊藤教育長 資料に基づき説明)

(伊藤教育長)

ただいまの説明につきまして、御質問などありましたらお願いします。

[質疑なし]

これより議事に入ります。本日提出されております議案を審議します。

はじめに、議案第30号「教育財産の用途廃止について」事務局から説明をお願いします。

議案第30号 教育財産の用途廃止について

(大館学校教育課長 資料に基づき説明)

(伊藤教育長)

ただいまの説明につきまして、御意見、御質問などがありましたらお願いいたします。

[質疑なし]

それでは、議案第30号を原案のとおり決定してよろしいでしょうか。

[異議なし]

御異議がありませんので、議案第30号を原案のとおり決定いたします。

次に、議案第31号「令和3年度使用小・中学校特別支援学級用教科図書の採択について」事務局からの説明をお願いします。

議案第31号 令和3年度使用小・中学校特別支援学級用教科図書の採択について

(竹花総合教育センター所長 資料に基づき説明)

(伊藤教育長)

ただいまの説明につきまして、御意見、御質問などがありましたらお願いいたします。

[質疑なし]

それでは、議案第 31 号を原案のとおり決定してよろしいでしょうか。

〔異議なし〕

御異議がありませんので、議案第 31 号を原案のとおり決定いたします。

以上で、議案の審議は終わりました。

次に報告事項にまいります。はじめに、「令和 2 年度第 1 四半期の業務報告について」は、事前に委員の皆さんから質問をいただいております。

【令和 2 年度第 1 四半期の業務報告について（質疑応答）】

（伊藤教育長）

まずは、7 ページ「成人式準備協力会」について、武輪委員からお願いします。

（武輪委員）

7 ページ『天然記念物「蕪島ウミネコ繁殖地」におけるウミネコ繁殖の保護監視等業務』について、お聞きしたいと思います。蕪島周辺は、今年蕪島神社が再建され、周辺にあった工事用の建物や仮の社務所も撤去されました。また、駐車場側には「かぶーにゃ」という物産販売施設も造られ、色々と周辺の様子が変化してきました。私たち人間にとっては、とても楽しく、観光しやすい状況になったわけですが、ウミネコにとっては、何か変化や影響はあったのでしょうか。または、工事が終わったことによるウミネコの子育て環境の状況についても少しお聞きしたいと思います。

私自身は鮫地区に住んで 20 年以上経つのですが、今年はたびたびキツネに遭遇することがございました。以前は、夜に出くわすことがあったのですが、今年は初めて日中の明るい時間帯にキツネと遭遇しました。蕪島周辺の環境も変わってきましたので、ウミネコの繁殖に対して影響がなかったのかをお聞きしたく質問いたしました。

（館合社会教育課長）

平成 23 年以降に行われた調査によると、蕪島に飛来するウミネコの数は、概ね 35,000 羽で推移しており、横ばいとなっております。ウミネコの繁殖数につきましては、天候不順による低温や餌不足、キツネや野猫といった天敵による捕食などによって影響が出るのが推測されますが、多いときで平成 23 年と 30 年の 10,000 羽、少ないときで平成 26 年の 2,500 羽と変動がありますが、平均すると、概ね 5,000 羽から 6,000 羽の間を推移しております。平成 26 年から 27 年には蕪島休憩所や広場の整備が行われ、平成 29 年には蕪島仕切り堤の撤去、平成 28 年から令和元年には蕪島神社の再建工事が行われましたが、この期間の平均繁殖数も約 6,000 羽となっていたことから、周辺整備による繁殖への影響はほとんどなかったものと推測されます。なお、4 月から一般参拝が可能となった蕪島神社の影響につきましては、今年の繁殖数の結果を待って確認したいと思います。

次に、キツネ等のウミネコの天敵についてお答え申し上げます。例年、ウミネコが卵を抱き始める 4 月の下旬から巣立ちまでの 7 月下旬までの間は、主に野猫、キツネ、タヌキが出没しますが、特に今年は野猫が多く目撃されております。そのため、狩猟免許所持者の方に、罠の設置を依頼しています。例年であ

れば、捕獲数は年1、2頭のところ、今年は12頭の天敵を捕獲することができました。なお、捕獲した天敵は、遠く離れた遠隔地にて放しております。なお、罠の設置に当たりましては、蕪島周辺の町内会に向けて事前周知のチラシを回覧しております。

(武輪委員)

ありがとうございます。そうしますと、ウミネコに対する天敵が増加している理由については、餌の関係もあるかと思いますが、分かっているのでしょうか。

(館合社会教育課長)

監視員さんの話によると、蕪島漁港の近くに、長らく使われていない古い大きな建物があったようでございます。その建物が野猫の住み家になっていたようでしたが、現在は解体され、新たな建物が建設されておりますので、住み家を失った野猫が蕪島方面に来ているのではないかと伺っておりました。

今年は、非常に多くの天敵を捕獲することができましたので、今後の様子を見ながらにはなりますが、来年度も天敵に対する罠の設置を行いながら、経過観察をしていきたいと思っております。

(伊藤教育長)

関連質問はございませんか。

[なし]

次に、13ページ「図書館（本館・移動図書館）の利用状況」について、武輪委員さんからお願いいたします。

(武輪委員)

13ページに図書館の利用状況が記載されています。4月は臨時休館中ではあったものの、施設配本及び相互貸借によって、貸出冊数、利用者数の実績があったようです。この「施設配本」との記載は、同ページの「4. 配本」欄との記載内容とは異なるものなのか、その点について質問いたします。

また、4月は新規登録者が29名あり、移動図書館が巡回する小学校の児童の事前登録によるものとのことですが、図書館や移動図書館がお休みの中でも、新規登録者がいたということは、大変嬉しいことであると思いました。大人が子ども分を事前登録したのかもしれませんが、本を楽しみにしている子どもたちが待っているということですし、数字としては少ない人数ではありますが、このコロナ禍で本と親しむ環境づくりが進められたという点については、とても良かったと感じました。この事前登録についても、毎年行っている業務であるかどうかお聞きいたします。

(田茂図書館長)

図書館の利用状況の脚注により説明しております「施設配本」と「4. 配本」で説明しております「施設配本」は同じものになります。例年であれば、5月中旬から6月上旬にかけて、6月に各施設に配本する図書の出し処理を行っておりますが、今年度は3月27日から5月11日まで臨時休館となっておりましたので、その貸出し処理を4月に予定を繰上げましたので、その分が4月の貸出冊数として計上されてお

ります。

次に、4月の新規登録者についてですが、毎年、新1年生と転校生を対象として、学校ごとに4月下旬から5月にかけて事前登録を行っています。この29人は、4月に学校から登録申請があったものであります。

(武輪委員)

通常の4月であれば、新規登録者がたくさんおりますので、この数字は見えなかったと思うのですが、このような形ではあります。子どもたちの新規登録者の状況等が分かることができました。ありがとうございます。

(伊藤教育長)

関連質問はございませんか。

[なし]

次に、16ページ「博物館・管理運営事業」について、武輪委員さんからお願いします。

(武輪委員)

16ページ「(3)文化財の保存・収集・管理」の中に、「中世衣装復元製作 with 千葉高2020」という事業がございます。この具体的な内容についてお聞きいたします。皆さんの中にも本日の新聞を御覧になった方もいるかと思いますが、千葉高校の生徒たちが染色している様子の写真が載っておりました。どのようなきっかけで千葉高の生徒たちと行うことになったかについても、御説明をお願いします。

(小保内博物館長)

史跡根城の広場では、毎年、春と秋の2回、復元した建物の主殿内で中世装束の着用体験を実施しております。平成20年度からは鎧の着用体験を行い、平成29年度から小袖の着用体験を行っておりますが、いずれも数人分しかなく、数に限りがございます。業者に頼むと簡単な話ではあります。少しずつでも衣装を手作りしたいと思い、地元の高校等との連携を考えました。その中でも、服飾に関して最も伝統ある千葉学園高等学校の生活文化科は、現在でも浴衣製作やファッションショー等を行っていることから、衣装製作について相談させていただき、昨年度から本事業を実施しています。

昨年度は、染色済みの麻布を使い、大人用と子ども用の小袖を各1着製作しており、10月5日に開催した「史跡根城まつり」にてお披露目をいたしました。今年度は布を染めるところから始め、大人用の小袖2着を製作予定でございます。コロナの影響がなければ、10月3日の「史跡根城まつり」において、お披露目予定ではあります。着用体験については、コロナ対策として中止をする方向でございます。

本事業の衣装復元製作を通じて、史跡根城や中世の歴史に関して興味を持つ機会になるとともに、生徒のキャリア形成にも資することを期待し、今後も多くの方の御協力をいただきながら、さらに発展した取組になるよう努めてまいります。

(武輪委員)

とても良い事業であると感じました。服飾に長けた生徒たちが製作していることも大変魅力的ですので、今後も地元の生徒と一緒に事業を展開させてほしいを思います。ありがとうございます。

(伊藤教育長)

関連質問はございませんか。

[なし]

そのほか、委員の皆さんから質問等ありますでしょうか。

[質疑なし]

【令和2年度第2四半期の業務予定について（質疑応答）】

(伊藤教育長)

それでは、次に入ります。「令和2年度第2四半期の主な事業予定について」も、事前に質問をいただいております。9ページ、教育指導課の「国際理解教育・英語教育推進事業」について、武輪委員からお願いいたします。

(武輪委員)

9ページ「国際理解教育・英語教育推進事業」についてですが、7月にALT2名が退任され、9月には6名が着任する予定とあります。小学校の外国語活動、中学校の英語においては、ALTが重要な役割を果たしていると思っておりますが、このコロナ禍においては、ALTが何かしらの影響を受けているのではと懸念しておりますので、その点についてお聞きいたします。

(竹花総合教育センター所長)

教育委員会で任用しているALTは18人おります。昨年度になりますが、令和2年度の任用更新についてALTに意向確認したところ、7月末での退任を希望したALTは6人おりましたが、うち2人が4月での早期退任となっております。これは新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う、全国一斉の小・中学校の臨時休業措置も重なり、また、体調面に不安のあるALTもいたことから、感染防止のために早期に帰国したいとの希望があったものです。

残りの4名につきましては、そのうち2人は、結果的には辞めず任用更新しており、結果的には7月末での退任は2名となっております。9月以降は、退任した4人分のALTに加え、さらに2人の増員を行い、計20人を任用することで進めています。ただし、新たに任用するALTの情報については、まだ入っておりません。また、新型コロナウイルス感染症によって、ALTの国と国との移動についても、少なからず影響はあるものと考えておりますので、現在もジェットプログラムの派遣元に対して、担当者が連絡を緊密に取りながら、情報収集を図っております。今後の状況によっては、新たなALTの着任が難しくなることも想定されますので、現在のALT14人のみでの活動も含めて検討しています。

(武輪委員)

新しく着任するALTは、これから日本に入国されると思います。入国にあたっては、どこかのタイミングでPCR検査を受けることになるかと思いますが、八戸に到着してから学校に派遣するまでの期間については、少し慎重に判断する必要があると思います。

私の家族の中に高齢者がおりますけれども、老人介護サービスを利用する場合において、県外に住む家族が自宅に帰ってきた場合や感染が拡大している地域からきた場合などは、その高齢者施設の利用を2週間控えてもらうということを言われておりますので、ALTにつきましても、PCR検査で陰性であることや、2週間の健康観察を行ったうえで、学校での授業支援等を行っていただきたいと思います。

また、現在任用しているALTは、夏休みの時期もいろいろな活動が制限され、自粛を余儀なくされていると思います。本来は遠出をしたり、日本の夏を楽しみたい時期の中で、生活面においても制約されていますので、教育委員会としても、今までよりも声掛けを行い、ALTのサポートをよろしく申し上げます。

(竹花総合教育センター所長)

新任ALTが来日した場合の対応については、ジェットプログラムに対して確認しているところでございます。来日した際に検査を行い、健康観察した上で八戸に来た場合であっても、委員から指摘があったとおり、改めて八戸で待機期間を定めるなどといった対応は必要であろうかと思っています。

任用中のALTについてですが、3月の自粛期間中は、基本的にはアパートからの不要不急の外出は禁止との指導を行っております。夏休み中の過ごし方についても、担当者がこまめに連絡を取って対応しているところではありますが、再度確認しながら心のケアについても注意してまいります。

(伊藤教育長)

関連質問はございませんか。

[なし]

そのほか、委員の皆さんから質問等ありますでしょうか。

(梁瀬委員)

これは毎回取り上げさせていただいていますが、3ページ、教育指導課の「マイブック推進事業」について感想を述べたいと思います。4月と5月の定例会でも質問させていただき、その都度、丁寧に説明をいただいております。関心を持ちながら見守らせていただいております。

先日の新聞記事になりますが、書店の店員さんが独自のお薦めの本を紹介している記事を目にしました。ここでは、お薦め本やクーポンの使い方などが載っており、夏休みに入る前でしたので、時期的にも、とても効果的であったと感じました。

先日、書店に行く機会があったのですが、恥ずかしながら、今になって様々な書店の工夫を目にしました。お薦め本として、シリーズ物の本を取り扱っていたりと、一回買ったなら、また読みたくなる気持ちにさせる工夫だなと思い、拝見していました。また、1,000円以下の本を置いているコーナーも大変多いと感じました。金額的にも買いやすく、2,000円分のクーポンで、2冊買えるように考えられていて、とても良いと思いました。

別な日になりますが、続けざまに、新聞の1面に出版社ごとのお薦め本が掲載されており、すぐにそのペー

ジが目に入ってきました。1面にクーポンの使い方が細かく書かれているというのは、すごく効果があったのではないかと思います。書店ではなく、出版社による取り上げ方という部分でも、バラエティがあると思いますし、書店での展示の工夫や新聞社等の紹介記事といった協力は、マイブック推進事業の積極的な推進においても、大変心強いことであると感じています。

もう一点になります。ブックリストを見て感じたことですが、1,000円以下の本は3冊しか掲載されておらず、値段の高い本が多かったですね。ただ、500円以下で買える短編の本「ショートショート」は、とても特徴的だと思いますし、子どもたちが手頃な価格で本を買えるということも、大切なことであると感じました。

大きく二つほど感想述べさせていただいたのですが、新聞に記事が載った後に私が書店に行ったこともあり、気のせいかもしれませんが、親子連れが多かったような気がしました。そのような効果にも期待して、今後とも関係機関や書店との連携を大切にしたいと思います。

(南館教育指導課長)

ありがとうございます。築瀬委員のおっしゃるとおり、今回のブックリストはブッククーポン4枚で買えるような高い本が半数を占めております。低学年向けの本は絵本などが多く、どうしても価格も高い傾向があり、ブッククーポン4枚を使う本が多かったという部分もありますので、その点も考えていきたいと思っております。また、家庭の事情でブッククーポンを使えない子どもたちもいますので、そのような子どもたちが本を手にするのできるよう、その方法についても検討していました。

(伊藤教育長)

そのほか、委員の皆さんから質問等ありますでしょうか。

(梁瀬委員)

14ページから15ページになりますが、博物館の各行事についてです。第1四半期の業務報告では、コロナの影響かと思いますが、ほとんどの行事が中止になっています。しかし、7月以降の事業予定を見ると、「定員を減らし実施」といった事業が見受けられます。もちろん、中止になった事業もあるのですが、少しずつではありますが、この状況の中でも、今できることをやるという姿勢が大変良いと思っております。今、学校教育や社会教育の現場は、すごい制限がある中で活動していますので、子どもたちも含め、教職員等の気持ちが後ろ向きになっているのではないかと懸念しています。強行してでもやればいいわけではありませんが、定員を減らしてでも開催したい、延期または曜日を変更してでも開催したい、という思いが大事であり、やはりその熱意が伝わってくるのです。

誤解されるかもしれませんが、一番簡単なことは、何でも中止にすることだと思います。私は、自分の職場やその保護者にも言っていますが、面倒くさいから中止するのではなく、今の状況の中でどういう内容、どういう形であればやるのできるのかを考えることが大事だと言っています。これは私個人の考えではありますが、今の時代だからこそ前向きに考えていく姿勢が大事だと思っています。

(小保内博物館長)

4月以降感じていることは、事業をやるにしても、中止するにしても、非常に業務量が増えるということです。このような状況の中で、私たちが持っているパワーで対応できる範囲を考え、一つ一つの事業の

選択を行いました。業務量が増えすぎると、対応できない業務や、多くの問題が発生することが想定されます。簡単に言えば、できる範囲内でやっているというところになります。先日の4連休中の客層を見ますと、東京、千葉、大阪、兵庫といった県外の方々も非常に多かったという現実もございます。ガイドについては、一旦は再開しましたが、あえて祝祭日はガイドせず、平日だけガイドするというふうな対応に切り替えたり、感染状況だけではなくて、実際の現場の状況を踏まえて、随時対応を変化させながらやっているところでもあります。

(伊藤教育長)

そのほか、委員の皆さんから質問等ありますでしょうか。

(武輪委員)

業務報告、事業予定を拝見した全体的な感想を一言述べさせていただきたいと思います。築瀬委員からもありましたけれども、コロナ禍によって行事が中止になったものがたくさんございました。改めて、残念であると思うと同時に、毎年たくさんの事業を開催、展開していたことを再認識いたしました。これまでも職員の皆さんが一生懸命業務されていたのだと感じ、大変感謝申し上げます。

(伊藤教育長)

そのほか、委員の皆さんから質問等ありますでしょうか。

[質疑なし]

そのほか、事務局から報告事項はありますか。

[なし]

事務局からは以上のようなようです。

それでは最後に「その他」ですが、委員の皆様方から何かございますか。

(大庭委員)

一点、お聞きいたします。先ほどから、コロナの影響による様々な事業の対応について、お話しされていましたが、小学校、中学校の修学旅行に関することです。最終的には各小・中学校の校長先生が判断されて、その時期や行先、内容等を決定されると思うのですが、今後のコロナの感染状況によっては、予定が変更になることも想定されます。現時点では、小・中学校の修学旅行はどのような方向で動いているのでしょうか。やはり、小学校6年生や中学校3年生にとっては、修学旅行は本当に大きな行事だと思いますので、現時点で把握されていることがありましたら、お知らせいただければと思います。

(大館学校教育課長)

大庭委員からお話があったとおり、各小・中学校では、修学旅行の実施について校長先生を中心にPTAとも会合を行い、行先、日程等も含めて検討を進めているところでございます。現在、教育委員会として把握している分につきましては、保護者とも協議を重ねた上で、中学校で1校、中止を決定しております。

す。小学校につきましては、1学期中に3校が修学旅行を実施しております。行先につきましては、当初の函館を変更し、東北町、岩手方面、仙台となっております。教育委員会から各学校に対しガイドラインを出していますが、各学校においては、状況に合わせて話し合いを行っているところであり、全体的には行先の変更、日程の縮小等を検討している学校が多いという状況でございます。

(伊藤教育長)

そのほか、委員の皆さんから質問等ありますでしょうか。

(油川委員)

私から二点ほどお話をさせていただきたいと思います。一点目は、今月28日に私立幼稚園協会の園長研修会において、田向地区に移転しました「こども支援センター」を視察させていただきました。大坂こども支援センター所長からは、概要を説明いただき、木村副所長からは、組織の体制、子どもへの支援内容について御説明をいただきました。教育委員会が主になり、こども支援センターを運営するという形態は、全国的にもとても珍しいということを知り、このような画期的な取組に改めて感服をいたしました。今後さらに巡回相談や教育相談の件数が増えることが予想されますが、幼児教育に携わる者にとっては、大変ありがたく、心強く思っているところです。御苦勞をお掛けすることと思いますが、どうぞよろしくお願いいたします。

二点目になります。新型コロナウイルス感染症の新規感染者が全国的に急増しており、日々緊張感が高まっております。新学習指導要領の第1章総説にこのようなことが記載されてありました。「社会構造や雇用環境は大きく、また急速に変化しており、予測が困難な時代となっている。」とあり、予測不可能な社会の変化においても、主体的に挑戦する生きる力の育成ということが求められており、まさに今のこの状態を見据えたかのような改定内容であると思えました。学校における役割は、子どもたちの生きる力を育むことであり、このコロナ禍の状況において、子どもたちの健康を守りながら、このことを培っていくということは並大抵なことではなく大変なことであると思いますし、計り知れないほどの心勞があることと思います。教育長を始めとする教育委員会の皆様、そして学校現場の皆様、大変な御苦勞をお掛けするかと思っておりますけれども、どうぞよろしくお願いいたします。

(伊藤教育長)

そのほか、何か御質問ございませんか。

[なし]

閉 会

これをもちまして令和2年7月教育委員会を終了いたします。お疲れ様でした。

(午後2時36分閉会)

会議録署名者

会議録調製者